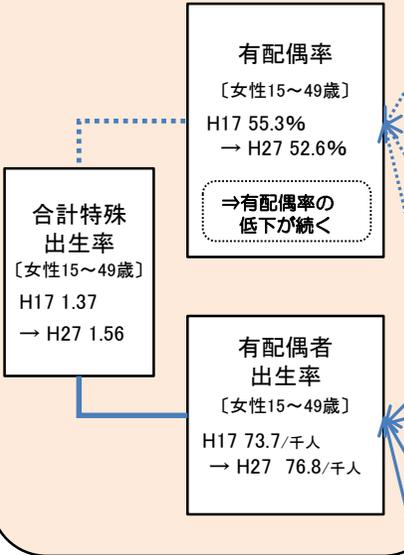


# 岐阜県の少子化対策検討のための課題分析

## STEP1 指標から課題の所在を考察



合計特殊出生率は女性の年齢別出生率の合計であり、出生率は、有配偶率と有配偶者出生率の積である

$$\sum_{n=15}^{49} \frac{\text{有配偶者女性人口}(n歳) \times \text{生まれた子ども数}(母娘n歳)}{\text{女性人口}(n歳) \times \text{有配偶者女性人口}(n歳)} = \text{有配偶率} \times \text{有配偶者出生率}$$

※日本では約98%が嫡出子(夫婦から生まれた子ども)であり、出生には有配偶率が大きく関係しているため、出生率を有配偶率と有配偶者出生率に分けて分析(内閣府「地域少子化対策検討のための手引きH29.5」より抜粋)

## STEP2 要因を分析

### 結婚への意欲・機会

#### ③ 出会いの機会が少ない

- ・非婚化、晩婚化が進行する一方、独身者の9割は「いずれ結婚するつもり」である。
- ・独身である理由の1位は「適当な相手にまだめぐり会わない」からで、4割を超える。
- ※50歳時未婚率の上昇 [男性] H17 11.9% → H27 20.1% [女性] H17 4.4% → H27 10.0%
- ※30代前半未婚率の上昇 [男性] H17 42.5% → H27 45.4% [女性] H17 26.2% → H27 30.1%
- ※平均初婚年齢の上昇 [男性] H17 29.5歳 → H30 30.9歳 [女性] H17 27.5歳 → H30 28.9歳

#### ①④ 家庭を持つことに対する意欲を感じない

- ・独身である理由として、「趣味や娯楽を楽しみたい」「自由や気楽さを失いたくない」と答えた割合が上昇している。
- ※独身である理由 「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」 H26 11.9% → H30 22.7% 「独身の自由や気楽さを失いたくないから」 H26 15.5% → H30 22.0%

#### ⑤ 若年層の女性の転出超過数が多い

- ・若い世代の就職、結婚、進学等による県外への転出超過が続く。
- ・男性より女性の転出超過数が多い。
- ※転出超過数(20代) [男性] H17 653人 → H30 754人 [女性] H17 832人 → H30 2,016人
- ※転出理由(20代) [男性] 1位 職業上、2位 学業上 [女性] 1位 結婚・離婚・縁組

### 経済的状況・生活基盤

#### ⑥⑦⑨⑩ 有配偶女性の不安定な就労の割合が高く、所得が低い

- ・有配偶女性の不安定な就労の割合が未婚者と比較して高く、低所得者の割合が高い。
- ※被雇用者の派遣社員、パート・アルバイト等の割合 [30～34歳女性]
- 未婚 H22 29.9% → H27 29.7% 有配偶 H22 52.8% → H27 51.0%
- ※所得200万円未満の割合 [30～39歳女性] 未婚 36.0% 有配偶 79.1%

#### ⑤ 若年男性の不安定な就労による経済基盤の弱さが結婚の障壁となっている

- ・未婚男性の不安定な就労の割合が有配偶者と比較して高く、低所得者の割合が高い。
- ・独身である理由の男性第2位は「経済的な余裕がない」から。
- ※被雇用者の派遣社員、パート・アルバイト等の割合 [30～34歳男性]
- 未婚 H22 13.1% → H27 15.3% 有配偶 H22 4.2% → H27 3.6%
- ※所得200万円未満の割合 [30～39歳男性] 未婚 25.0% 有配偶 5.5%

### 仕事と家庭の両立

#### ⑥⑦⑨ 育児中の女性の有業率が女性全体の有業率より低い

- ・育児をしている女性の有業率は、女性全体の有業率より10%程度低い。
- ※女性全体と就学前の子を育児中の女性の有業率の差(H29)
- [25～39歳] Δ11.3% (女性全体73.9%、育児中の女性62.6%)

#### ②⑥⑧ 夫の家事・育児時間が妻と比べて極めて短い

- ・夫の家事・育児等に関する時間は、妻の家事・育児時間と比べて極端に短い。
- ※6歳未満の子をもつ夫婦の家事・育児関連時間
- [夫] H23 59分 → H28 68分/日 [妻] H23 470分 → H28 440分/日
- うち共働き [夫] H23 59分 → H28 80分/日 [妻] H23 413分 → H28 314分/日

#### ②⑥⑧ 男性の育児休業取得率は低水準に留まる

- ・男性の育児休業取得率が女性と比べて著しく低い。
- ※育児休業取得率 [男性] H26 2.6% → H30 6.2% [女性] H26 92.3% → H30 93.5%
- ※自分の職場が、子育てをする人にとって職場が働きにくい原因
- 「日常的に労働時間が長い」 H26 47.3% → H30 53.5%
- 「育児休業が取りづらい」 H26 36.7% → H30 34.8%

### 育児への安心感

#### ①④⑩⑪ 子育ての孤立化の進行・負担感の増大

- ・地域のつながりの希薄化に加え、約7割の母親が生まれ育った地域以外で子育てをしている。
- ・約7割は、困ったときに預けられる人、子どもを注意してくれる人がいない。
- ※「自分が育った市区町村で現在子育てをしている」 27.8%
- ※地域の中で子どもを通じた近所付き合いの状況
- 「子どもを預けられる人がいる」 H26 27.6% → H30 28.3%
- 「子どもを注意してくれる人がいる」 H26 30.2% → H30 26.6%

## STEP3 課題に応じた対応策を検討

### ① 地域全体で子育てを支え合う意識を高める環境づくり

- ・地域で子どもを見守り、結婚や子育てを応援する機運の醸成
- ・地域コミュニティによる支え合いの取組みの促進
- ・家庭を持つことの意義、結婚や子育ての素晴らしさや喜びについて理解を深める取組みの推進

### ② 男女が協力した家事・育児の推進

- ・男性の家事・育児への参画促進
- ・男女役割分担を前提とした男性中心の働き方を変える意識・行動改革
- ・男女が協力して家庭を築くことの大切さに関する意識啓発
- ・子育てに配慮した職場づくりに向けた企業経営者・管理職の意識改革

### ③ 結婚の希望をかなえるための支援

- ・出会いの機会の提供、結婚に向けた情報提供・相談支援
- ・企業と連携した結婚支援の取組みの推進

### ④ 家庭を持ち、親となる意識の醸成

- ・就業、結婚、妊娠・出産、子育てにわたる将来のライフデザインを、人生の早い時期から構築するための機会の提供
- ・家庭を持つことの意義、結婚や子育ての素晴らしさや喜びについて理解を深める取組みの推進(再掲)

### ⑤ 若者の定着率の向上、雇用対策

- ・若者の安定した雇用の確保、就業支援
- ・岐阜県の暮らしやすさ、子育て環境の良さの情報発信

### ⑥ 子育てしながら働き続けられる職場環境の整備

- ・ワーク・ライフ・バランス推進企業の拡大
- ・エクセレント企業の取組みの普及
- ・長時間労働の抑制、柔軟な働き方の導入の促進

### ⑦ 女性活躍の推進

- ・女性の結婚・出産前後の継続就業の支援
- ・両立支援制度を利用しながらキャリアを形成できる職場づくりの推進

### ⑧ 男性の子育て目的の休暇取得の促進

- ・出産直後からの男性の育児休業取得の促進
- ・子育てに配慮した職場づくりに向けた企業経営者・管理職の意識改革(再掲)

### ⑨ 安心して子どもを預けられる受け皿づくり

- ・幼児教育・保育の無償化に伴う保育需要の増大への対応
- ・保育人材の確保・資質の向上、施設整備

### ⑩ 地域における妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

- ・妊娠から出産・子育てまでを切れ目なく支援する「子育て世代包括支援センター」の設置促進
- ・関係機関が連携した総合的な子育て支援体制の整備

### ⑪ 子どもの貧困対策の推進

- ・貧困家庭の子どもの生活・教育支援、保護者の就労支援

I 子育てを社会全体で支える意識を高めるための環境づくり

II 若者の結婚の希望がかなえられる環境づくり

III 働きながら子育てしやすい環境づくり

IV 地域で子育てを支え合う仕組みづくり